

医薬品副作用・感染症症例票(1)

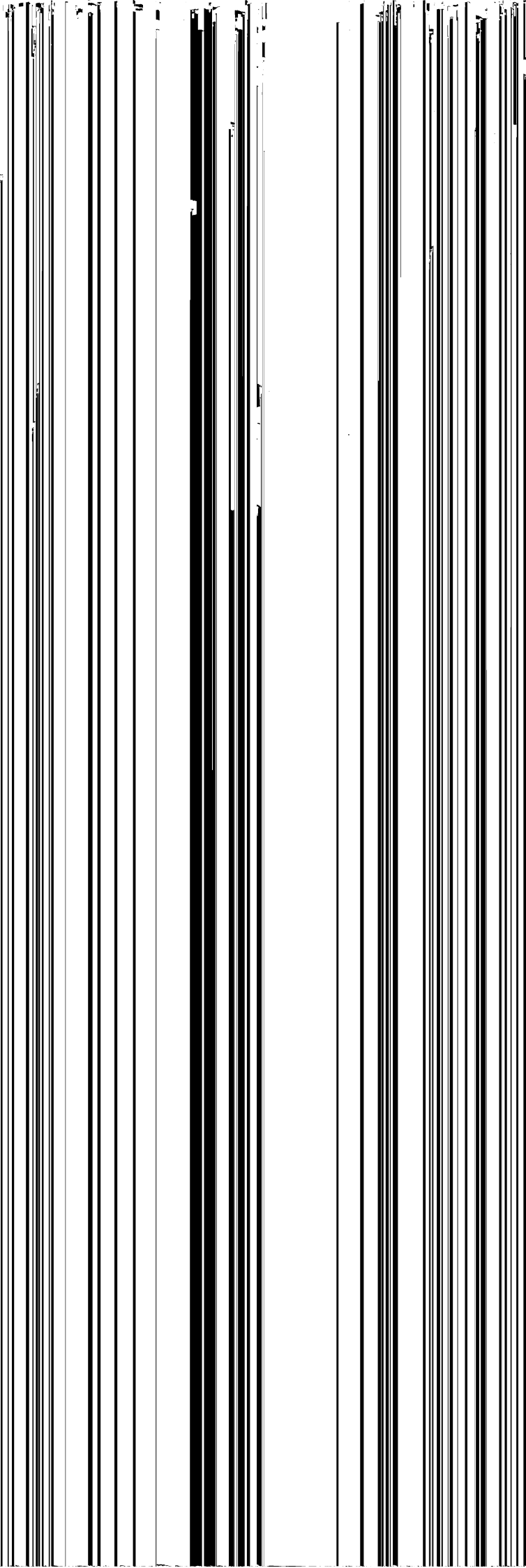
識別番号	B02-1093	02年4月23日	登録番号	B01-5875	02年3月6日	情報入手日	02年2月28日	同一症例番号	年月日	死・感・重未・先・癌・改・OTC
区分	副作用・感染症	15日(30日)	入院・外来・不明	妊娠(無)有(妊娠週)・不明	02年3月6日	02年2月28日	02年2月28日	02年2月28日	02年2月28日	死・感・重未・先・癌・改・OTC
患者略名	男	74歳	医療機関所在地:愛媛県	職業:無職	02年3月6日	02年2月28日	02年2月28日	02年2月28日	02年2月28日	死・感・重未・先・癌・改・OTC
A. N	(女)	74歳	医療機関所在地:愛媛県	職業:無職	02年3月6日	02年2月28日	02年2月28日	02年2月28日	02年2月28日	死・感・重未・先・癌・改・OTC
販売名 (企業名)	一般名	副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過 身長: 158cm 体重: 55kg インフルエンザと考えられる発熱、頭痛、鼻汁、全身・怠感を訴え来院。独居で老人性痴呆もあるため、入院。本剤 150mg/日 (分2) 経口投与開始。ほぼ下熱。ペリアクチン 10mL/日 (分3) 経口投与開始。 譫妄発現。会話内容は「じつまはあっているが、病室内をウロウロはじめる、外に出ようとしている。会話内容も「じつまがあわなくなり、入院していることもわからなくなり、外に出ようとする行動が強くなる。不隠発現。あなたには誰ですか?私を早くここから出して下さい。刑務所なんかはいらんではないんです」とナース訪問時に説明すると落ち着く。入眠していたが、荷物を持って部屋からいなくなり、行方不明となる。翌病棟内廊下を歩いているのを見つけたが、荷物は持っていないかった。翌日、空床の床頭台より見つかる。 夕食食べず、「床に水があれいている」と幻覚発現。雑きんで拭く動作あり。状況変化なく、支離滅裂。不隠、幻覚あり。プロパリン 0.3g、ヒルナミン散 0.02g 内服。治療するが効果なし。 「杖が床に沢山出る」と幻覚あり。アタラククス P 12.5mg 筋注 1回。出入口に行つて、ドアを開けようとして、家に帰ると言つて聞かない状態。セレネース 1mL 筋注 1回。 一時落ち着いたが、再び幻覚あり。セレネース 1mL 静注 1回。本剤投与中止。 ベッドのマットを取り除いたり、TVの上に布団を置いたりしている。他人の部屋を覗いている。声かけて、臥床。その後入眠。 その後、不隠、幻覚はみられず。譫妄、不隠回復。 ペリアクチン投与中止。								
経路	一日量	開始	終了	使用理由 原疾患には下線 合併症には()	副作用・ 感染症名	年月日				
S	150mg	02.2.7	02.2.11	インフルエンザ疑診		02.2.7				
O	10mL	02.2.9	02.2.18	鎮咳、鼻汁		02.2.9				
	3.0g	02.2.7	02.2.10	下熱		02.2.10				
	0.8g	02.2.7	02.2.20	鎮咳		14:00				
	0.8g	02.2.7	02.2.20	鼻炎		15:00				
	6mL	02.2.9	02.2.18	鎮咳、去痰		17:30				
	8mL	02.2.9	02.2.18	鎮咳、去痰		18:25				
	15mg	02.2.9	02.2.20	去痰		18:30				
	12mg	02.2.9	02.2.20	去痰、消炎		19:00				
				老人性痴呆		20:00				
						21:00				
						22:00				
						02.2.11				
						1:00				
						3:00				
						4:00				
						02.2.18				
再投与	有(再発・再発せず)・不明	転帰	回	(02年2月11日)						
その他の治療	有(放射線療法 輸血 手術 麻酔 その他)									

医薬品副作用・感染症症例票(2)

識別番号	B02-1093	02年4月23日
------	----------	----------

項目	施設正常値	02.2.7	2.8	2.9	2.10	2.11	2.12	2.21
BT	℃	38.6	38.3	36.8	36.0	37.0	37.8	37.2
BP	mmHg	138/78					130/64	122/62
WBC	/ μ L		5200					
RBC	$\times 10^4$ / μ L		343					
Hb	g/dL		10.9					
Ht	%		31.8					
PLT	$\times 10^4$ / μ L		22.1					
ESR 1hr	mm		56					
CRP	mg/dL		5.4					
GOT	IU/L		33					
GPT	IU/L		14					
γ GTP	IU/L		36					
BUN	mg/dL		13.9					
Cre	mg/dL		0.6					
Na	mEq/l		138					
K	mEq/l		3.2					
Cl	mEq/l		99					

識別番号 B02-1093	02年4月23日	担当医等の意見		報告企業の意見	
副作用の程度（本剤との因果関係）〔本剤以外に考えられる要因〕 譫妄、不穏：軽微でも重篤でもない（本剤によるかもしれない）〔併用薬：ペリアクチン〕 担当医のコメント 2月9日には、ほぼ下熱。老人性の痴呆はあったため、環境変化と、状態楽になったことにより、譫妄がでた可能性はある。		処置と今後の対策		参考事項 MCN 308002	
使用上の注意の記載状況等		（この欄は空欄です）			



同、今後とも同様の事例の情報収集に努め、必要に心ししく適切な対応を行なう。

使用上の注意の記載状況等

タミフル (国内) 記載なし (CDS, PDR) 記載なし
他剤記載なし

2. 累積報告件数

失調 (国内) 1件 (今回の報告を含む) (外国) 報告無し

医薬品副作用・感染症症例票

識別番号	B02-1235	02年4月25日	登録番号	B01-5239	02年1月25日	同一症例番号		年月日		死・感・重未・先・癌・故・OTC
区分	副作用・感染症	15日・30日	02年2月6日	情報入手日	02年1月25日	同一症例番号		年月日		
患者略名	男	外来	不明	妊娠	無	不明	不明	不明	不明	(厚生省処理欄)
K S	9歳	医療機関所在地	愛知県	職業	学生	有	有	有	有	
販売名 (企業名)	一般名	S	使用 方法	使用 理由 原疾患には下線 合併症には()	副作用・ 感染症名	全身の痙攣				
タミフル (日本ロシユ)	リン酸オセルタミビル	S	経路	開始	年月日	副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過				
ムコダイン (杏林製薬)	カルボシステイン	O	一日量	終了	年月日					
セフゾン (藤沢薬品)	セフジニル	O	不明	不明	年月日					
フスコデ (北陸製薬)	アロピコロワエコミン/ リン酸ジヒドロコデイン/ 塩酸ジヒドロコデイン	O	18mg	不明	年月日					
ロキソニン (三共)	ロキソプロフェン ナトリウム	O	不明 (頓服)	不明	年月日					
その他の治療	有 (放射線療法 輸血 手術 麻酔 その他 ())	不明	不明	不明	再投与	有 (再発・再発せず) ・不明	不明	不明	不明	転帰
	無	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明